

【社会保障費縮減に向けたフレイル予防の拡充】

テーマ概要

千葉市の高齢者の栄養改善、運動機能向上、社会参加に繋がるアイデアを募集します。

千葉市の課題

千葉市の総人口は、令和8（2026）年3月末現在で98万7千人、そのうち65歳以上の高齢者人口は25万9千人、高齢化率は26.3%となっている。

令和22（2040）年には、高齢者人口は31万1千人、高齢化率は33.2%まで上昇することが見込まれており、医療や介護等の支援を必要とする人が増えてくると予想される。

想定する解決策

健康な状態と要介護状態の中間を指す「フレイル（虚弱）」を予防することが大切。複数年度にわたり実施可能な持続性のある提案を求める。

- ・低栄養を防ぐ測定や栄養指導
- ・フレイル予防プログラムの提供
- ・交流イベントの開催

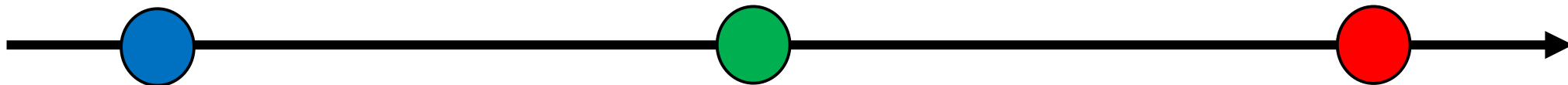


今後の展開予想

《Phase1》
テーマ型採用・実証

《Phase2》
講演・イベントの実施

《Phase3》
講演・イベントの拡大



募集概要

担当部署	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課 連絡先：043-245-5169
提案の提出期限・ 想定する事業実施時期	提案提出期限：令和8年7月16日 事業実施時期：令和8年8月～令和9年3月
抱える問題点や課題	<ul style="list-style-type: none">・千葉県では老人福祉センター（いきいきプラザ・いきいきセンター）を計15施設運営し、高齢者が健康で生きがいのある生活が送れるよう、健康づくり、各種相談、教養の向上、レクリエーション、さらに介護予防の場を提供している。・しかしながら、高齢者人口の伸びに比例し、介護給付費の増加に歯止めがかからず、より一層の介護予防・フレイル予防の取り組みが必要。
想定する解決策	<ul style="list-style-type: none">・栄養指導や口腔機能向上など、栄養改善に向けた講演会やイベントの開催・フレイル予防プログラムの開発や、高齢者に適した運動器具、運動啓発による運動機能向上・高齢者が社会での役割を感じることが出来る機会の提供や、仲間づくりに繋がるイベントの開催。高齢者が支える側として活躍できる機会など、社会参加機会の提供

<p>提案側の想定メリット (定量的な提供)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防効果のデータ収集・実績 ・新たな知見の獲得他自治体への横展開につながる先進事例としての発信機会
<p>検討経緯・これまでに実施したことがある施策等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食品メーカーの栄養摂取測定器の体験 ・eスポーツの体験、歩行姿勢の測定 ・通いの場の推進 <p>過去に単発で終了してしまう事例が見受けられることから、複数年度にわたり実施可能な持続性のある提案を求める。</p>
<p>提案企業に求める専門性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養、口腔機能の知見 ・運動機能の知見
<p>各部署が提供できるリソース等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施会場の提供 (いきいきプラザ・いきいきセンター)
<p>事業実施にあたっての留意点、制約等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者負担への配慮（安全配慮や拘束時間） ・個人情報保護への配慮
<p>市の財政負担・今後の展開想定</p>	<p>今年度予算あり・<u>予算要望検討</u> <u>補助金活用検討</u></p> <p>令和8年度は試行・モデル事業として実施成果・効果を検証した上で、令和9年度以降の予算化・委託拡大を検討。</p>
<p>参考情報・備考</p>	<hr/>